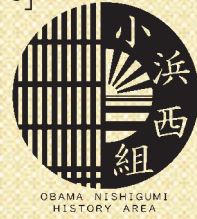




日本遺産「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道」
日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

小浜西組
町並み協議会

町並み通信



発行責任者：中島 福則 2024 春号 (vol.171)

視察研修（三国湊）を終えて

活性化委員長 上中 雄一郎

北陸新幹線福井延伸直前の3月9日（土）、役員と今後小浜西組で出店予定の方と共に、三国を訪れました。今回視察研修先として選んだ理由は、“インバウンド（訪日客）や国内富裕層をターゲットに、三国町の空き家10棟をリノベーションし、旧市街地一帯を一つのホテルに見立てた「オーベルジュほまち三國湊」が開業し、観光客が、地元食材をふんだんに使ったフレンチや湊町の風情を楽しんだ。…”という新聞記事を読み、是非町並み保存の参考に見てみたいと思ったからです。

三国は北前船の寄港地として全国の物品が集まる物流の一大集積地として発展し、今も格子戸が連なる町家、豪商の面影が残る歴史的建造物など、情緒ある町並みが残る地域です。

小浜を出発後、まずは三国の歴史を知る為に龍翔博物館へ、以前、小浜市役所に勤務されていた中田那々子さんから説明を受けて館内見学を行いました。館内は北前船の大型模型や三国祭で使われた山車、武者人形、龍翔小学校とエッセルに関する資料等が展示してあります。



龍昇館での見学を終え、フレンチレストラン「S 'Amuser サミュゼ」にて昼食を取りました。サミュゼは、湊町・三国を象徴する存在だった『旧大木道具店（骨董店）』の大正時代の古い建物をリノベーションしたレストランで、外観は町家の趣を残しながらも、内装はモダンでシックな造りとなっていました。良い雰囲気の中おいしい料理を頂き「こんなお店が西組にもあったらいいのにね」という声に参加者から多く聞かれました。



昼食後は商工会議所にて、オーベルジュほまち三國湊を運営するアクティベースふくい代表取締役の樋口佳久氏に講演を行って頂きました。アクティベースふくいはNTT西日本が中心となり、新聞社、銀行、建設会社等と共同で地域の資源を生かし観光事業を営む会社です。講演では会社立ち上げの経緯や、三国の歴史と街並みの美しさからこの地域を選んだこと、またレストランを造るにあたって、老朽化が激しかった以前の建物を壊した際、地域住民の

方から批判をあびたことなど様々なことをお聞きし大変参考になりました。

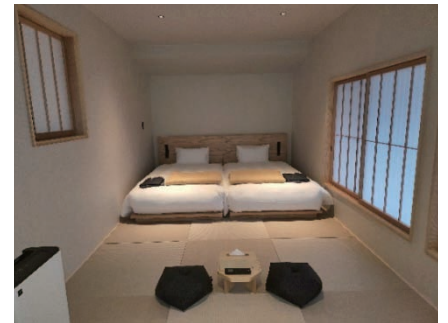
その後は、実際にレストラン棟、宿泊棟を見学させていただきました。

レストランは既存の蔵を客席とするなど、今ある建物をうまく生かした造りとなっていました。フレンチの巨匠吉野建氏の監修のもと、素敵な料理が食べられるそうです。現在は宿泊客の方だけしか利用できませんが、今後は一般客も利用出来るよう検討しているとのことでした。

宿泊棟は三国の街中に点在し、明治後期から昭和初期の町家を改修し利用されていました。三国の町家は、「かぐら建て」と呼ばれる三国の伝統的な建築様式の建物に加え平入や入母屋など様々な建て方のものがあります。重伝建地区では無い為、外観に手を加えているものもあり、また内装においても新建材が多用されているなど、個人的には少し残念な気がしましたがそれぞれの棟で、趣向を凝らした空間となっており、町家の雰囲気を感じながらゆったりと過ごせると思います。興味のある方は是非宿泊して体感されることをお勧めします。

三国は歴史文化もあり、受け継がれているお祭りもあります。また古い町並みも残っていて小浜に似ていると思いました。街歩きをしていても十分楽しめますが、もう少し新しいお店なり楽しめるところがあるとさらに良いと感じます。

今回お邪魔した、ほまち三国湊は沢山の資金が注入されていて、まねは出来ませんが、小浜は小浜なりの良さを生かしながら街づくりが進んでいくと良いと感じた視察研修でした。



防災委員会から西組の皆様へ

防災委員長 新谷 隆夫

日頃は小浜西組地区の防災活動に格別のご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

また、2024年1月1日16時10分に発生した能登半島地震では、3月25日現在で死者241名、全壊家屋8,795棟もの被害が報告されました。被災地の1日も早い復興と、被災された皆様の生活が1日も早く平穏に復されることをお祈り申し上げます。

私は買い物でコンビニに居たところ地震にあい、とても怖い思いをしました。小浜コミュニティセンターに行くと、数人の方が避難されていましたが、お正月で、津波避難場所でもないことから、建物は閉まったままでした。消防署や市役所に連絡し、臨時的に津波避難場所として開設されていた市役所3階に避難してくださいと伝えました。

それから、地区内で協力して1人暮らしの方々の安否確認やお互いの安全確認をしました。

今回の地震を通じて、素早い情報の入手と、自分たちの地区の中でできる範囲での助け合い、共助に心がけることで、「天災は忘れた頃にやってくる」という物理学者の寺田寅彦の言葉のように、いつ起こるか分からない災害被害を抑えられるように活動していきたいと思いました。

4月25日以降には小浜市発行の『津波ハザードマップ』の冊子が各戸配布される予定です。危険区域や津波避難場所の地図や避難の心得なども掲載されているので、ご覧になって防災意識を高めましょう。



小浜市津波ハザードマップより（小浜西組周辺のみ掲載）



津波発生時の心得

海の近くで強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、まずは身を守ったのち、ただちに高台などの安全な場所に避難しましょう。

1	小さな揺れでも油断禁物！ （津波の可能性がります）
2	引き波がなくても注意 （津波の前に必ず引き波があるとは限らない）
3	満潮の時は要注意 （津波が高くなり危険）
4	津波スピードは速い！ （津波の到達スピードは予想外）
5	より高い場所へ避難する （「より遠い場所」ではなく「より高い場所」へ）
6	避難はなるべく徒歩で （車は渋滞にまきこまれやすい）
7	正しい情報を聞く （テレビ・ラジオ・防災行政無線を活用）
8	津波は繰り返される！ （「注意報」「警報」解除までは安全な場所に）
9	海岸河川に近づかない！ （安全が確認できるまで様子を見にいかない）
10	地域での助け合いが大切！ （要配慮者などに手助けを）

第5回 小浜地区まちづくりタウンミーティングの御案内

「能登半島地震から地域防災を学ぶ」と題し、まちの防災研究会代表 松森和人氏による講演会を開催します。

日時：令和6年5月12日（日）午後1時30分～ 場所：小浜市まちなかの駅 旭座

主催：小浜地区まちづくり協議会 後援：小浜市 問合せ：小浜コミュニティセンター ☎ 53-2010

小浜西組町並み協議会からの報告とお知らせ

小浜西組町並み協議会の総会を開催します

日時 5月28日（火） 19：00

場所 小浜コミュニティセンター 多数お集まりください



役員会を開催しました

日時 2月16日（火） 19：00～20：50 11名

場所 コミュニティセンター

各委員会からの報告 三国視察日、次回役員会、総会日等決めました

広報委員会を行いました

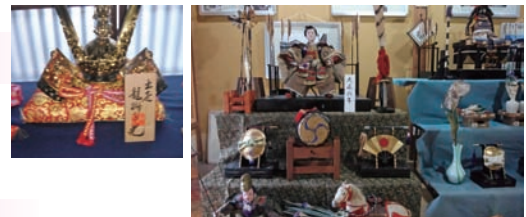
日時 3月19日（火） 19：00～20：00 4名

場所 小浜コミュニティセンター

5月人形展開催中

日時 5月19日（日）まで 10：00～17：00

場所 町並み保存資料館



町並み保存資料館の開館時間

4月から11月まで 10：00～17：00

小浜西組の URL <http://obama-nishigumi.sakura.ne.jp/>

小浜西組

検索



小浜西組
ホームページ